



・東武スカイツリーライン(日比谷線)(半蔵門線)
北越谷駅(西口)→車で7分
越谷駅(西口)→車で7分(銀座50分、上野40分)



当院では下記の時刻にて送迎バス(無料)を運行しております。当院へのご診察・ご面会の際は
お気軽にご利用下さい。(日・祝祭日・年末年始を除く)

・武蔵野線
南越谷駅→車で10分、東川口駅→車で10分
・埼玉高速鉄道(南北線直通)
東川口駅→車で10分

※尚、お急ぎの方は病院西側停留所より、
越谷駅行きのタローズバスが運行して
おりますので、そちらをご利用下さい。(有料)

送迎バス時刻のご案内

北越谷駅西口 発	
8	40
9	30
10	
11	15
12	
13	※45
14	
15	※45
16	
新越谷駅西口 発	
8	00
9	
10	15
11	
12	00
13	
14	※30
15	
16	※30

●※は土曜日連休です。ご注意ください。
●途中下車希望の方はご乗車の際に
運転手までお申し出下さい。

タローズバス 越谷駅西口～県民健康福祉村

越谷駅西口 発				
県民健康福祉村行き				
平日	時	土	日・祝	
	50	6		
55	40	20	7	10
45	10	8	00	30
	20	9	00	30
30	00	10	00	30
30	00	11	00	40
30	00	12	10	40
50	00	13	10	40
45	20	14	00	30
35	15	15	00	30
55	25	05	16	05
45	15	17	00	30
50	00	18	25	
	20	19		
		20		

●タローズバスが病院の敷地内に乗り入れています。

越谷誠和病院前 発				
越谷西口行き				
平日	時	土	日・祝	
	33	6		
55	37	24	03	7
	27	8	44	45
	44	04	9	14
	45	14	10	14
	45	14	11	24
	45	14	12	24
	34	13	44	24
	29	05	14	15
	49	19	00	15
	59	40	09	16
	44	30	17	15
		34	18	09
		05	19	
		20		

診療統計 2021年11月～2022年10月(月平均)

外来延べ患者数	71,366名(5,947名)	紹介患者数	3,436名(286名)
入院延べ患者数	64,735名(5,394名)	手術件数	1,969件(164件)
1日平均外来患者数	241名	内視鏡件数	2,016件(168件)
救急搬入数	2,852名(237名)		



医療法人社団
協友会 **越谷誠和病院**
〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町4-25-5

TEL.048-966-2711
http://www.seiwa-amg.com
E-mail: info@seiwa-amg.com



シンパシー

Sympathy



理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足頂ける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。

患者様の権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
社会的地位、信条、障害の有無などに関わらず、良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 個人としての人格が尊重される権利
個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との協力関係のもとで医療行為を受ける権利があります。
3. 十分な説明を受ける権利
自分が受ける治療の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて十分な説明を受ける権利があります。
4. 自分が受ける医療行為を選択する権利
治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。別の医療機関の意見セカンドオピニオンを聞きたいという希望も尊重します。
5. 自分が受けている医療について知る権利
自分が受けている医療について、質問することができ、診療録の開示を求める権利があります。
6. 個人のプライバシーが守られる権利
診療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

超高齢化社会に向かっている

新年明けましておめでとうございます。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行すると言われて久しいですが、日々救急要請や介護福祉施設からの受け入れ要請の資料を見ていると、それを最近では強く感じます。書類に記載されている患者年齢を見ると昔に比べて明らかに80歳代、90歳代が多いのです。これらの人々は戦前生まれであり、今後昭和22年から24年生まれの団塊の世代がこの年齢に達したら、病院機能は一体どうなるのだろうかと考え込んでしまいます。現在は1年間の出生数が100万人を割っていますが、団塊の世代は年間250万人以上の出生数がありました。かなり前から厚生労働省は団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を推進していますが、医療の分野を受け持つ本院としても病床機能分化を進め、地域での役割分担を果たす考えです。また、ここ3年にわたる新型コロナウイルス感染症との戦いで社会は大きく変わり、病院は大変な負担を強いられました。未だ新型コロナウイルス感染症は収束に至っておらず、医療関係者が警戒を弛めることは出来ません。今回の経験を生かし、今後病院として新興感染症に速やかに対応できる体制を整えておくことは特に重要だと思っています。

上述のように社会はかつてないほど変化しており、本院のような民間病院が生き残っていくためには変化に応じて自分達も柔軟に変わっていく必要があると考えています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



越谷誠和病院 院長
吉永 圭吾

屋内消火栓大会にて入賞！

2022年度、屋内消火栓大会に男女共に3人のチーム編成で参加しました。他の参加チームには越谷周辺の病院、施設、市役所の方々がいらっしゃいました。大会の2か月程前から、谷中消防署の方々のご指導の下、練習をさせて頂きました。例年、事前練習は10回程度実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響によって5回となっていました。それでも消防署の方々から消防の節度、放水するための手順等、多くを学ばせて頂きました。大会当日は、その節度や手順の正確さ、その速さを競いました。結果は女子第2位、男子第3位と男女共に入賞することができました。本番は緊張感が漂い、中でも練習通りの所作を求められ、事前練習の重要性を深く実感しました。また実際の火災時での疑似体験を経験できたと感じました。今回の経験を活かし、災害時や火災時に逸早く対応できる人材としての心構えを持ち、地域に貢献できるように努めていきたいと思っています。



リハビリテーション科 宇佐見 賢哉・磯田 悠人

言語聴覚士による訪問リハビリのご紹介

皆様は「訪問リハビリテーション」というサービスを存知でしょうか。リハビリ専門職が利用者様のご自宅に伺い、運動や生活の支援を行うもので、介護保険にて利用することができます。当院では理学療法士と作業療法士に加え、言語聴覚士（ST）による訪問リハビリも実施しています。STは、ことばを始めとしたコミュニケーション全般、および食事や飲み込みのトレーニングなどを中心に行う専門職です。ことばが出にくい、理解しにくい、きれいな発音が難しい、あるいは食事が飲み込みづらい、ムセやすい……こんな症状でお悩みの方はいらっしゃいませんか？これらは脳梗塞などの病気のほか、年齢を重ねることでもみられてきますが、家族あるいは地域社会の一員として生活をしていくうえで、とても大きな問題になりがちです。STによる訪問リハビリは、ことばや飲み込みのトレーニング、口腔ケア、食事のアドバイスなどを通じて、これらの問題に対するお手伝いをさせて頂いております。

STによる訪問リハビリをご希望の方は、利用が可能かどうか、利用方法や空き情報など、お気軽にご相談頂ければ幸いです。

リハビリテーション科 桑原 充保



医師 紹介

院長 吉永 圭吾（よしなが けいご） 外科

外科

外科部長 井出 明 毅（いで あきたけ）
宮田 大 士（みやた たいし）
原 朋 広（はら ともひろ）

整形外科

整形外科部長 木村 和 正（きむら かずまさ）
大堀 正 明（おおほり まさあき）
渡邉 正 智（わたなべ まさとむ）
篠原 果 夏（しのはら かな）

脳神経外科 泉 原 昭 文（いずみはら あきふみ）

内科

内科部長 中川 晃（なかがわ あきら） 呼吸器内科
桑原 大 彦（くわはら だいひこ） 一般内科
本郷 進一郎（ほんこう しんいちろう） 消化器内科
箱島 明（はこしま あきら） 循環器科
仲野 堅太郎（なかの けんたろう） 呼吸器内科
色川 正 祥（いろかわ まさひろ） 消化器内科
早川 富 貴（はやかわ ふうき） 呼吸器内科

泌尿器科

泌尿器科部長 青木 慶一郎（あおき けいいちろう）
菅原 基 子（すがはら もとこ）

麻酔科 井上 久（いのうえ ひさし）

健康管理課 深井 有 美（ふかい ゆみ）